

# 大学入試学会誌 第1巻 目次

巻頭言	倉元 直樹	1
<b>I. 特集「大学入試への学術的アプローチ」</b>		
1. 大学入試に関する社会学的研究の展望と課題 —— 教育機会と社会階層の視点から ——	中村 高康	3
2. 追跡調査における相関分析パラダイムについての一考察 —— 選抜効果を中心に ——	宮本 友弘	15
3. 教育機能を備えた志願者本人記載資料の在り方に関する研究	西郡 大	27
<b>II. 自由論題</b>		
<b>原著</b>		
1. 浪人からみる大学入試と公平性 —— 多年浪人と仮面浪人の検討を通じて ——	福島 由依	45
2. 高大接続から見た大学入試の役割と影響 —— 選抜方法と学習の関連に関するこれまでの研究とこれから ——	近藤 礼士	59
3. 大学入学者選抜における Computer Based Testing 導入・活用に関する総説 —— 各大学の多様なニーズにあわせた CBT のためのガイドライン ——	寺尾 尚大・立脇 洋介	71
4. 評価者を要するテストのリンキングとテストデザイン —— 大学入試への応用可能性と課題について ——	光永 悠彦	89
<b>研究ノート</b>		
1. グランゼコール準備級の現状と課題	阿部 和久・倉元 直樹	105
2. 大学入学者選抜におけるオンライン利用の拡大と課題	永田 純一	117
3. 多様化した大学入試の類型化 —— 出願書類に着目した探索的階層クラスター分析 ——	加美山若奈・倉元 直樹	125
4. COVID-19 が日中両国の高校生の学習活動と大学選択に与えた影響	林 如玉・倉元 直樹	137
<b>書評</b>		
1. 中村恵佑著『大学入試の共通試験改革をめぐるポリティクス』東京大学出版会	大野真理子	147
2. 倉元直樹監修・久保沙織編『再考 大学入試改革の論理』金子書房	駒形 一路	149
編集後記	中村 高康	151